

第4回 米沢養護学校就労コース設置準備委員会【記録要旨】

- 1 日 時 令和3年7月20日（火）10:30～11:30
- 2 場 所 県立米沢養護学校会議室
- 3 協 議

◇就労コース開設に伴う受け入れ区域等について

- ・令和5年度入学者より、置賜地区を原則とする。（上山高等養護学校の受け入れ区域は、村山地区を原則とする）
- ・上山高等養護学校と米沢養護学校就労コースの進路等教育相談を兼ねることはできない。

◇米沢養護学校就労コースの取組（案）について（新庄養護学校就労コースの成果を踏まえた取組）

- ・資格取得により、自信や職種に対する希望をもてるような学習内容の設定
→教科「情報」を設定。
→ワープロ検定等の資格取得に関する学習活動の設定。
- ・様々な職種の実習実施による教員の生徒の適性の把握と生徒自身の適性の意識化
→3年間の段階的な実習を通し、より実践的な働く力を養う。デュアル実習、産業現場等における実習の2種類を設定する。

・地域に根差した就労支援の充実

- 実習の積み重ねによる就労支援と関係機関との連携を図る。

◇令和5年度就労コース進路指導計画（案）について

- ・学年に応じた段階的な学習内容、実習の設定
- ・実習の積み重ねや関係機関との連携を重点においた進路指導計画

<主な意見等>

- ・デュアル実習など現場でいろいろな仕事を学ぶ機会が多い。1学年のときから仕事内容と自分の適性について見極め、最終的に3学年時に希望する事業所で現場実習ができるとよい。
- ・丁寧な個別面談や実習の繰り返しなどを通し、就労先決定に向け選択や判断を積み重ねることが、障がいのある生徒の社会的自立につながる。
- ・受け入れ区域の「特別な事情がある場合」として想定していることはあるか。
→上山高等養護学校に通うよりも米沢養護学校に通う方が所要時間がかかる等、自力通学を希望する生徒の公共交通機関に伴う通学負担や困難を想定している。
- ・就労コース開設について、早めの情報提供、啓蒙活動が大事であり、小学校の保護者も含め、広く周知する方がよい。これから、説明会等の予定はあるか。
→今後、関係する教育委員会、地域の方、学校などに対して説明する。進路等教育相談、デュアル実習等について丁寧に説明していく。